

## 札幌市環境保全協議会委員からのプロジェクト初回提案

平成 27 年 12 月から平成 28 年 1 月にかけて、札幌市環境保全協議会各委員に本協議会にて実施できそうな地球温暖化対策に関するプロジェクトについて募集を行ったところ、11 件の提案をいただいた。

その提案の部門ごとの内訳は以下の通りであった。（括弧内は本資料のページ数）

**【家庭部門に関する提案】**

## ○住宅の省エネ化に関する提案

- ・賃貸住宅の省エネ化に関する啓蒙活動や環境活動（p. 3、p. 11）
- ・DIYによる住宅の高性能化（p. 12、p. 13）
- ・住教育の実践（p. 12）

## ○発寒北商店街での環境活動に関する提案

- ・既存イベントのエコ化や環境プロジェクト等（p. 5-6、p. 8、p. 11、p. 13）

## ○市民の啓発に関する提案

- ・マイはし推進活動（p. 2）
- ・デザインを活用した節電情報の発信（p. 10）

**【業務部門に関する提案】**

## ○事業所における活動に関する提案

- ・過剰包装削減運動（p. 2）
- ・環境保全行動計画書を活用した、省エネ診断の実施（p. 7）

**【運輸部門に関する提案】**

## ○公共交通機関等の利用促進に関する提案

- ・市内企業と連携した啓発の実施（p. 2）
- ・ノーカーデー等記念日やイベント等の開催による普及活動（p. 4、p. 9、p. 13）

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料①

委員名		青木 直人												
所属		日本チェーンストア協会 北海道支部												
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>①植樹活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設する店舗の敷地にその地に自生する苗木を地域の皆さまとともに植えて育てていく環境保全活動</li> </ul> <p>②買物袋持参推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋削減を目的にレジ袋の無料配布を中止し推進を進めている活動</li> </ul> <p>③省エネルギー機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED照明機器、冷蔵設備を中心に省エネルギー機器への積極的投資の実施</li> </ul> <p>④地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・需要の高い地場産地の商品を積極的に販売する</li> </ul> <p>⑤廃棄食品を減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄食材を減らすため、段階的な価格設定を行い販売する</li> </ul>												
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内	
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲			
													○	
	ホームページ URL													
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>①過剰包装削減活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品取扱事業者全体で食品トレーを削減するための取り組み</li> </ul> <p>②マイはし推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所、家庭を含めマイはしを推進していく活動</li> </ul> <p>③公共交通機関利用促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通のイベント等の告知、啓発を各事業所店頭にて実施、支援</li> </ul>												
	対象分野	家庭				業務				運輸				
		○				○				○				

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料②

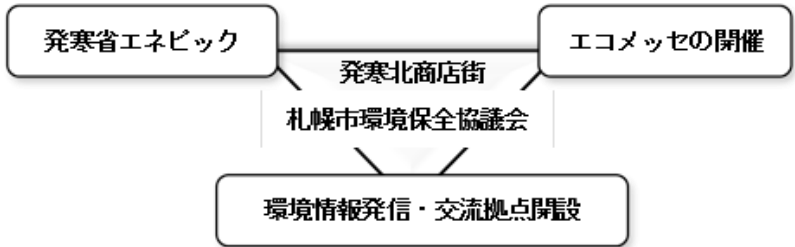
委員名		大吉 智浩																																												
所属		株式会社土屋ホールディングス																																												
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>1. 積雪寒冷地型ネットゼロエネルギーハウスの普及啓発                  2. 積雪寒冷地型ネットゼロエネルギーリフォームの普及啓発                  3. 太陽光発電等の創エネ機器、高効率給湯等の省エネ機器の普及啓発</p> <p>北海道の家庭部門におけるエネルギー消費量は、全国平均の約2倍であり、その主要因は暖房が約4.6倍、給湯が約1.5倍になっていることにあります。</p> <p>これらの投資が、光熱費を含めた家計収支の観点から、如何に経済的で、かつ物質的にも精神的にも健康的にも価値のあるものであるかということを啓蒙するために、単なる営業的な広告宣伝ではなく、セミナーや実住宅への体験入居等を通して、市民の理解を広めていく活動を致しております。</p>																																												
	主な活動場所 ※該当する場所に○	<table border="1"> <tr> <th colspan="10">市内</th> <th rowspan="2">道内</th> <th rowspan="2">国内</th> </tr> <tr> <th>中央</th> <th>北</th> <th>東</th> <th>白石</th> <th>厚別</th> <th>豊平</th> <th>清田</th> <th>南</th> <th>西</th> <th>手稲</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>										市内										道内	国内	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	市内										道内	国内																																		
	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																			
ホームページ URL	http://www.tsuchiya.co.jp/																																													
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>上記の活動の他に賃貸住宅の省エネ化推進のための啓蒙活動を実施したい。</p> <p>賃貸住宅は、住宅ストックの約4割を占めていることもあり、省エネ化の推進は極めて重要となるが、省エネ化のための躯体や設備への投資は賃貸料金の引き上げに繋がることから、料金維持のために住宅性能が犠牲となる傾向にある。賃貸住宅の居住者は相対的に若い世代が多いため、潜在的には環境に対する意識も高く今後の省エネ効果が期待できる場所ではあるが、現在は居住者が物件を選択する際には、一般に家賃、駅からの近さ、間取り・広さ、築年数が選択基準であり、環境性能については情報も得られず考慮されていない。</p> <p>これは、省エネ性の向上策の実施者である大家と省エネ性の向上で利益を得る居住者が別になることから、大家としては家賃に反映されなければメリットがないにも関わらず、現在の賃貸市場ではその情報が居住者に伝達されておらず家賃や物件選択への反映が不可能になっているためである。以上により、環境性能を向上させ省エネを実現することが大家と居住者の双方にとってメリットがあると分かるよう誘導するための啓蒙活動が必要となる。</p> <p>具体的には、大家に対しては既存物件の省エネ診断と省エネ化実施効果の試算の提供や、入居者には実物件の体験入居を通じた賃料価値の理解を広める等の体験会や、これらの実績に基づくセミナーの開催等が考えられる。また、実施方法については、よりプロジェクトの実施方針に沿い効果を高めるために公募事業が望まれる。</p>																																												
	対象分野	家庭				業務				運輸																																				
		○																																												

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料③

委員名		栗田 敬子												
所属		NPO 法人 エコ・モビリティ サッポロ												
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>移動手段の選択肢の一つとして環境に配慮した自転車タクシーの運行を行っています。</p> <p>車に依存しがちなライフスタイルの見直しや、乗り継ぐことによって公共交通の利用促進の効果が期待できます。利用者の 4 割が大通から札幌駅へ利用者です。JR、バス、地下鉄が集中している交通結節点と目的地間の移動の需要に対応しています。また、利用距離から CO2 排出量を算出し HP 上で更新しています。</p> <p>また、デザインによる取り組みでは「ベロタクシーデザインしま専科」を 1 月 23 日より 4 回連続講座を開催し、市立大学の教授陣を迎え、デザインがもたらすコミュニケーションをまちや物にふさわしいデザインを完成し実際に車体にラッピングし運行させます。</p>												
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内	
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲			
	ホームページ URL	http://velotaxi-sapporo.jp												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>「モビリティウィーク」や「カーフリーデー」等イベントの開催 公共交通、徒歩、自転車などを切り口に都心部の環境改善やくるまに依存市内ライフスタイル、車優先社会など考えるきっかけを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を使用しない場合の移動手段の提案</li> <li>・自転車、ベロタクシー、公共交通機関を使ったツアー</li> <li>・公共交通利用者に対する特典（駐車場は金額に応じてサービスがあるが公共交通は無い為、イベント的に実験）</li> <li>・CO2 排出量の試算</li> <li>・車使用とそれ以外移動を選択した時をコスト表示、（金額、時間など）</li> <li>・バスや地下鉄などのラッピングデザインワークショップ</li> </ul>												
	対象分野	家庭				業務				運輸				
										○				

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料④

委員名		柴田 真年											
所属		公益財団法人北海道環境財団											
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>当財団では、温暖化対策としてこれまで以下の事業に取り組んできています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での省エネ省CO<sub>2</sub> うちエコ診断 各家庭へのうちエコ診断 <a href="http://www.heco-spc.or.jp/uchieco/">http://www.heco-spc.or.jp/uchieco/</a></li> <li>○地域の木質資源を有効活用した温暖化対策事業 地域の未利用材等を薪として、個人や商店等の暖房エネルギーに活用 <a href="http://www.ezorock.org/project/nino">http://www.ezorock.org/project/nino</a></li> <li>○はこだて省エネ応援プロジェクト おうちエコポイントを活用した家庭での省エネ支援事業 <a href="http://www.heco-spc.or.jp/eco-life/">http://www.heco-spc.or.jp/eco-life/</a></li> <li>○未来につながるまつりプロジェクト 地域の資源を活用した地域活性化事業 <a href="http://www.heco-spc.or.jp/festival/about.html">http://www.heco-spc.or.jp/festival/about.html</a></li> <li>○北海道バイオマスペレット利用推進コンソーシアム ペレットストーブの普及促進等暖房分野の温暖化対策 <a href="http://www.hif.or.jp/biomass/about/">http://www.hif.or.jp/biomass/about/</a></li> <li>○次世代あかりプロジェクト 施設ライトアップのLED化の可能性検討事業 <a href="http://www.heco-spc.or.jp/akari/">http://www.heco-spc.or.jp/akari/</a></li> <li>○プロジェクトオホーツク 太陽光発電及び木質ペレットストーブの寄付金を活用した普及事業 <a href="http://www.heco-spc.or.jp/okhotsk/">http://www.heco-spc.or.jp/okhotsk/</a></li> </ul>											
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		
	ホームページ URL												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>【プロジェクト名】「にぎわい商店街エコトーププロジェクト（仮称）」 ～発寒北商店街がエコ情報発信・交流のトープ（場）になる～</p> <p>【プロジェクト内容】 （コンセプト） 発寒北商店街を中心に協議会のメンバーや若者が協力して以下のようなエコな取組を通年で展開し、商店街の活性化とエコトープ（環境にやさしい場所）な地域づくりのモデル化を目指す。</p> <p>（取組例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発寒省エネピックの開催 商店街周辺の住民に一定期間省エネにチャレンジしてもらい、省エネの成果に応じて、商店街の地域通貨（アトム通貨）を発行し、商店街に還元。</li> <li>○環境にやさしい「おまつり（エコメッセ）」の開催 バイオマス発電でのライブ、地産地消食材の紹介、リサイクルアートフェス、ペレットストーブ・省エネ機器の展示会や省エネ住宅リフォーム相談会の開催ベロタクシーの試乗会 等</li> </ul>											

プロジェクトでの取組提案	内容	<p>・空き店舗などを活用したエコ情報発信・交流拠点の設置 協議会メンバーやボランティアの手作りで展示交流スペースを整備。 その場を活用して、定期的な環境に関する講座の開催、 環境機器の展示、 子供向けの環境教育等を開催、 エコライフの情報発信・相談窓口の役割を果たす。</p> <p>【期待する効果】 商店街にエコで人を集めることによって、商店街の活性化とエコライフの普及啓発の促進が同時に図れる。</p> <p>【財源及び体制】 (財源) 短期的には国の補助事業の活用が想定されるが、長く続けることを考えると継続的な財源確保のシステムも併せて検討することが必要。 (体制) 協議会のメンバーや商店街の有志による実行員会を結成して、委員会が中心となって若者のボランティアを募りながら取組む。</p> <p>「にぎわい商店街エコトーププロジェクト（仮称）」イメージ図</p>  <pre> graph TD     A[発寒省エネピック] --- B[発寒北商店街]     C[エコメッセの開催] --- B     B --- D[札幌市環境保全協議会]     D --- E[環境情報発信・交流拠点開設] </pre>		
	対象分野	家庭	業務	運輸

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑤

委員名		新庄 博之												
所属		北海道ガス株式会社												
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>環境省「CO2 削減ポテンシャル診断・対策提案事業」を活用し、省エネ診断を実施。実績は、2014 年度は 3 件、2015 年度は 2 件の合計 5 件で産業用のお客さまが対象であった。</p> <p>診断内容は「回転機器のインバーター化」、「照明の LED 化」、「蒸気回収」、「ボイラー燃転」、「天然ガス CGS 導入」などエネルギー全般にわたり、CO2 削減効果とその導入コストを提示。</p>												
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内	
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲			
	ホームページ URL													
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>札幌市内の各事業者より札幌市へ毎年提出している「環境保全行動計画報告提出書」等を活用し、CO2 削減目標の達成に苦しんでいる事業者に対して本事業を紹介し補助金を利用して診断を受けてもらい、その結果をCO2 削減対策に活用してもらう。</p>												
	対象分野	家庭				業務				運輸				
						○								

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑥

委員名		新保 るみ子											
所属		NPO 法人ひまわりの種の会											
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>■イベントで発生する二酸化炭素削減活動「太陽と風のエコイルミネーション」</p> <p>平成 12 年度から継続取組み</p> <p>■環境の取組みに伴うまちの魅力を解説し伝えていく人材育成事業「さっぽろ環境インタープリター養成講座」</p> <p>平成 27 年度～</p>											
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		
	ホームページ URL												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>「生活と心を豊かにする♪ポジティブ・エナジー・プロジェクト」(仮称)</p> <p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関わる商店街の継続的活性化に寄与する。</li> <li>2. 本活動を通じてコミットした人々の環境意識を啓発し、環境行動の促進を図る。</li> <li>3. 連携、参画した皆が得をすることで新たな発想、活動を期待する。</li> </ol> <p>【連携主体】</p> <p>市内商店街・企業・学校（小、中、高）・学生、さっぽろ環境インタープリター</p> <p>【事業概要】</p> <p>発北商店街に行くと“得して満足するライフスタイル”をデザインできる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「ライフスタイルシート」(仮称)づくりをする →参加者募集。(別添資料)→近隣小、中、高校へ協力依頼</li> <li>②記載されたライフスタイルシートに関連する商店と参加者をマッチング →マッチング先の商店で、参加者の興味を満たす情報を提供し、関連する環境情報をさっぽろ環境インタープリターが提供する</li> <li>③マッチングコンサルタントはライフスタイルアドバイザー(仮称) →マッチングアテンドは「さっぽろ環境インタープリター」</li> <li>④アテンド要員はさっぽろ環境インタープリター養成講座を受講し、スキルを身につける。</li> <li>⑤「ライフスタイルシート」1 項目アテンド終了時にアトム通貨 1 点をプレゼント。</li> <li>⑥商店街まつりで「ステキ大賞」(仮称)コンテストを開催。 コンテストでは“電気を使わないコンサート”を実施して本事業参画者で盛り上げる。→受賞者には豪華景品(札幌市より?)</li> </ol>											
	対象分野	家庭				業務				運輸			
		○				○							



札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑦

委員名		竹重 守											
所属		札幌開成高校											
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>学校で行っていることは、木のペレットによるストーブを使っていると聞いています。個人では、基本的な節電に取り組んでいます。</p>											
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		
	ホームページ URL												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>実施したいことは、</p> <p>①ノーカーデーの実施？による 1 日だけの（札幌）、大通り、（すすきの）の歩行者天国化。</p> <p>②夏場の自転車利用促進（中心部の駐輪場を期間限定タダなど）</p> <p>③小中学校の生徒のための、環境学習（家でできる節電方法などを生徒が親に広めるといいう狙いです）</p> <p>④日にち限定、子ども地下鉄タダ。（家族での利用をしてほしい）</p> <p>⑤市電乗り放題券の宣伝。</p> <p>⑥市電線路の緑地化。</p> <p>⑦暖房利用削減のための宣伝。</p> <p>⑧銭湯の入浴料割引</p> <p>です。</p> <p>これらを” キャンペーン” という形で実現できたら良いなと思います。</p>											
	対象分野	家庭				業務				運輸			
		○								○			

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑧

委員名		谷井 直子												
所属		札幌市立大学デザイン学部 1 年												
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	札幌市立大学 COC キャンパスまちの先生にて地域住民への情報の提供、札幌市立大学デザイン学部にてデザインについての勉強をしています。情報を、デザインを用いて整理する勉強しています。												
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内	
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲			
	ホームページ URL													
プロジェクトでの取組提案	内容	お金をかけずに市民が取り組みできるような節電情報を提示する。その際、節電に関する情報をわかりやすく、デザイン性を考慮して市民に伝える広告づくりを行いたい。												
	対象分野	家庭				業務				運輸				
		○												

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑨

委員名		土屋 日出男																															
所属		発寒北商店街振興組合 理事長																															
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>発寒北商店街での取組として、以下を実施。</p> <p>○廃食油の回収→ビニルハウスでの野菜作りの燃料に活用</p> <p>○ペットボトルキャップ、リングプルの回収</p> <p>○段ボールの回収</p> <p>○地域イベント（春、夏、秋まつり、ハロウィン等）でのエコバック作りなど</p> <p>○マイバッグの持参などにより、アトム通貨（地域通貨）の提供</p> <div style="text-align: center;">  <p>【アトム通貨】</p> </div>																															
	主な活動場所 ※該当する場所に○	<div style="text-align: center;">市内</div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>中央</td><td>北</td><td>東</td><td>白石</td><td>厚別</td><td>豊平</td><td>清田</td><td>南</td><td>西</td><td>手稲</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td> </tr> </table>										中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲									○		道内	国内
	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲																							
									○																								
ホームページ URL	http://hatsukita.jp/																																
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>○夏まつり（ハツキタマルシェ、8月第1週の土曜日開催）において、学生による環境活動や、ベロタクシーの活用を行うことによるエコイベント化</p> <p>○その他のお祭り（5月14日、9月14日に開催予定）での環境活動など</p> <p>○既存アパートの一部を学生が活用することで、環境活動を実施。（オーナーの協力は要確認）</p> <p>○アトム通貨を活用した環境プロジェクトへの参加促進（10馬力=10円から発行可能） など</p>																															
	対象分野	家庭			業務			運輸																									
		○			○			○																									

札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑩

委員名		長野 遼太											
所属		北海道大学 教育学部											
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	個人として、温暖化対策に資する活動・業務等はありません。											
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		
	ホームページ URL												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>第一に、住・環境教育による市民の意識改革プロジェクトを実施したいと考えました。</p> <p>地球温暖化や省エネ、といった言葉は今やどこでも誰でも使い、耳にする言葉ですが、なぜ地球温暖化は問題なのか、なぜ省エネ活動が必要か、といった本質を理解している人は多くはないと思います（自戒の意を込めて）。教育を通じて、なぜ省エネなのか、ということが分かれば普段の市民の生活や、考えられている「想定プロジェクト」への参画もより積極的にそして有意義なものになると考えました。</p> <p>（住教育参考：<a href="http://www.jh-a.or.jp/contents/gekkan/jukyyouiku/">http://www.jh-a.or.jp/contents/gekkan/jukyyouiku/</a>）</p> <p>第二に DIY による、住宅の高性能化を図る取り組みを考えました。（なぜ高性能化が必要なのか、という点では住環境教育が前提にあるべき）そして DIY 後に、具体的に何等かの数値として変化を”見える化”する必要があると考えます。</p> <p>例えば経済的にも健康的にもプラスになっているとわかる指標をつくる、またそれが地球環境に長いスパンでどれだけ良い影響を与えることになるのかというのを可視化できることが具体的な目標です。なぜなら”社会に役立っている、貢献している”という感覚こそ活動の持続や主体性を促すと考えたからです。堅苦しいイメージでなく、住宅のレベル上げをしているというようなゲーム感覚が理想です。</p>											
	対象分野	家庭				業務				運輸			
		○											

**札幌市環境保全協議会プロジェクト検討用資料⑪**

委員名		町田 遥菜											
所属		北海道札幌開成高等学校											
本プロジェクトで活用できそうな活動紹介	内容	<p>私はこれからドイツに行くので、現地のことを調べる機会が多いのですが、ドイツにあるボーバン住宅街という場所の公共交通システムは世界的に有名であり、公共交通を使ったほうが得になる政策を打ち出したり、固定観念に縛られることなく住民主導で取り組みを行っておりその住宅街の工夫について札幌に応用できるか見てきたいと思います。</p>											
	主な活動場所 ※該当する場所に○	市内										道内	国内
		中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲		
	ホームページ URL												
プロジェクトでの取組提案	内容	<p>【家庭部門】市内商店街における学生による環境活動の普及 環境保全活動に若者を取り込むには若者の興味をそそるような特典をつけるなど具体的なきっかけを作ることを行うべきだと思います。</p> <p>【運輸部門】共通イベントによる公共交通の利用促進 通学で公共交通機関を多く用いる学生より自動車通勤を行っているサラリーマンの方に焦点を当て、親子で参加するサタデーテーリングの大人版のようなイベントを行い、公共交通の利点を知ってもらうことも手だと思います。</p> <p>また、どちらの活動もゲーム感覚で取り組めるものにすることも興味を持たせるにはいいアイデアだと思います。 環境活動をする上でゲームのようにポイントを見える化することでやる気を継続することができるのではないのでしょうか。</p> <p>先日、協議会メンバーである大学生と高校生が軽く話し合いを行いました。 そこで、家を断熱することが寒い北海道では大事でありお金をかけずにそれを行うには段ボールや断熱シート、新聞紙などで床や壁を覆うことが考えられるがそれを実際に生活に取り入れるには無理があるので、性能を保ったままかっこよく断熱する方法が考えるべきではないかという考えが出ました。 また、電化製品を買う際につくエコポイント制度もせっかくあるにもかかわらず知らない人多すぎるのでシステムをわかりやすくするべきという話にもなりました。</p>											
	対象分野	家庭				業務				運輸			
	○				○				○				